

2020和田ゼミナール後期 30秒映画 「雨／二人」の構成研究
研究レポート



■タイトル

『夕立が洗っていった茄子をもぐ』

■シーン・全体構成のねらい

先ほどまで音を立てながら夕立が降っていた。はっと気がつくのと、もう止んでいる。今のうちに家の畑の茄子をとってこよう。茄子を入れるためにかごを持って、畑へ向かう。

茄子には夕立の水滴がついている。夕立の後の夕日が当たり、キラキラと輝いている。ふつうなら、こんなに野菜を見て感動したりはしない。だが、その茄子には自然の恵みが光っていた。夕立で洗われた茄子。それを照らす夕日。空も雲も、洗われたように澄んでいる。ただ、当たり前のことかもしれない。けれど、私はすばらしいと思った。全てが夕立で洗われたようで、私の心も洗われたようで……全てが美しく見えた。

■人物の設定

兄 12歳 活発で勇敢
弟 7歳 間抜けで臆病

■空間の設定・構成のねらい

時間の前後感を感じさせられるような空間を作ることを狙った

■導線のねらい

畑と兄弟の関係性を描くころを意識した

■サウンド(台詞)演出のねらい

間抜けな弟としっかり者の兄の対比として奔放さに振り回される描写の一節として「誰が怒られると思ってんだよ」「お兄ちゃん！」の会話を取り入れた

■編集構成のねらい

本文

■その他の実践ポイント

本文

■レポート

本文